

拠出金名： カンボジア地雷対策センター(UNDP/CMAC)信託基金

国際機関等名	カンボジア地雷対策センター (略称)CMAC(UNDP信託基金を通じた協力)					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	外務省アジア大洋州局南東アジア第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	79,300	650		1\$ = 122円	(2002年) 11.8	100
平成13年度	96,300	900		1\$ = 107円	(2001年) 19.0	100
平成12年度	94,500	900		1\$ = 105円	(2000年) 12.2	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 93～2000年4月の累積	
1位	豪		19.8			
2位	スウェーデン		15.4			
3位	日本		13.9			
4位	蘭		13.5			
5位	英		6.7			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
カンボジアでは、日本の国土のおよそ半分である18.1万平方キロメートルの国土に、約400万～600万の地雷が残存しており、国の開発の大きな障害となっている。カンボジア地雷対策センター(CMAC)は、地雷除去及び不発弾処理を担当する唯一の政府機関である。我が国は、地雷分野に対する支援の重要性につき認識しており、CMACのこれまでの実績を評価している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。行われている場合はその現状と我が国としての評価。						
99年に資金流用などの問題が発生したが、その後新事務局長に就任したケム・サオポワン前参謀次長の下、機構・財政・業務面で改革を行った結果、2001年に外部の監査機関により実施された調査では、問題の多くが改善されたとしている。我が国を含むドナー諸国は、CMACのかかる改革努力を概ね前向きに評価するとともに、引き続き右改革を支援していく必要性について認識している。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	0 人 0 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
なし(CMAC自体は、カンボジア政府機関であるため。なお、JICA専門家1名を派遣中)						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。